

様式第13

策 定 令 和 年 第 号
令 和 年 月 日

国土交通大臣 殿

下段の年月日欄は、計画の変更手続きなどを行うときに使用します。

1 策定者の住所 〇〇県〇〇市××1-1
名称及び氏名 〇〇市長 □□ □□

事業者名、代表者氏名(役職含む)を記載してください。
代表者の押印は必須ではありません(押印が必要かは計画策定者の判断によります)。

令和7年度 観光振興事業費補助金(インバウンド受入環境整備高度化事業)受入環境整備高度化計画

観光振興事業費補助金交付要綱第30条第1項の規定に基づき、本紙及び別紙のとおり計画書を提出します。

計画名	〇〇旧市街周辺における受入環境整備高度化計画
計画策定者の名称及び氏名	〇〇市長 □□ □□
計画の対象となる地域の市区町村名(都道府県も記載)	〇〇県〇〇市

計画名	〇〇旧市街周辺における受入環境整備高度化計画	事業費 見込み	※補助対象経費総額 20,000 単位:千円
-----	------------------------	------------	------------------------------

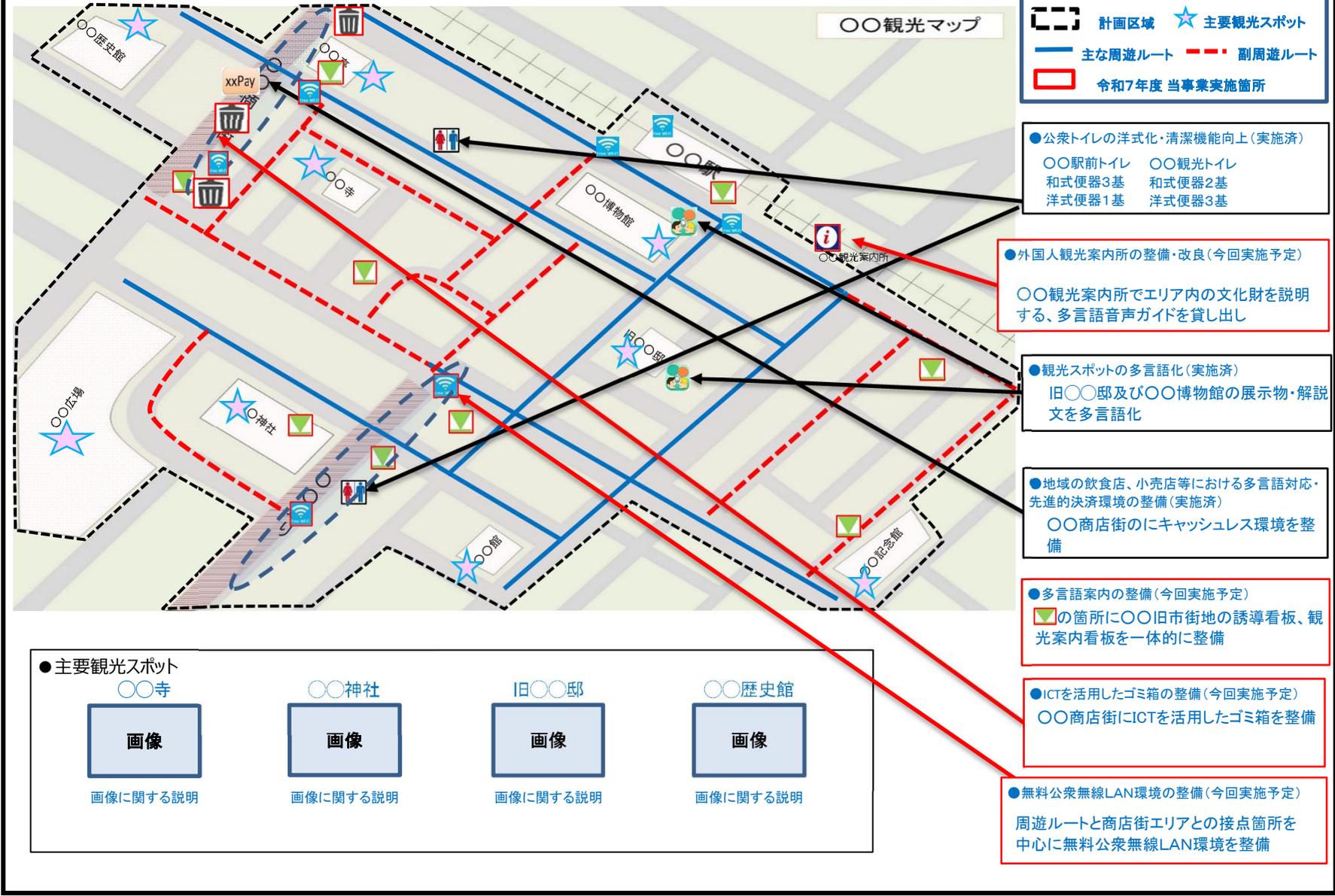
○計画区域に関する情報

計画の対象となる 地域の市区町村名 (都道府県も記載)	〇〇県〇〇市	計画区域の 旅行者数	国内	1,000,000	(人)
			訪日外国人 旅行者数	100,000	(人)
2 計画の 全体像	<p><背景> ※観光の観点における、計画区域が抱える課題について、簡潔に記載ください。 ・〇〇旧市街エリアは、xx神社・旧〇〇邸等の歴史的文化的文化財が複数あるが、それぞれ点在して立地しており、散策ルートも不明瞭であったことから、観光スポットとして十分な魅力を伝えられない状況であった。</p> <p><概要> ※計画区域における現状と課題を整理した上、背景、目的、整備エリア(整備箇所)、整備内容及び期待する効果について、簡潔に記載ください。 ・当該エリアを〇〇市の新たな観光スポットとして磨きあげるために、文化財を繋ぐ周遊ルートを明確に打ち出し、ICTを活用した一体的な看板整備、無料公衆無線LAN環境の整備、多言語音声ガイド、ICTを活用したゴミ箱の整備等の受入環境整備を実施し、訪日外国人旅行者をターゲットに快適な周遊環境を構築する。</p>				
3 関連事業者との 連携状況	<p>※計画作成にあたり、関連地域に関わる事業者等との連携状況や、今後の連携計画等を記載ください。 これまで計画区域に含まれる〇〇商店街や、観光スポットである〇〇と協議し、当該計画に対しても目的を共有し理解を得られている。事業実施後においても、KPI達成度や課題を共有し、継続して連携していく予定。</p>				

計画スケジュール					
4	これまでの取組 ～令和6年度	今年度の計画 令和7年度	翌年度の計画 令和8年度	以降の計画 令和9年度～	備考
	全体概要	・計画区域関連事業者と連携した計画素案の合意	・周遊を促す面的な受入環境整備を実施	・令和7年度事業の効果測定と、公衆トイレ整備を実施	
賑わい環境の創出					
新たなニーズへの対応・新技術の活用		・〇〇商店街にICTを活用したゴミ箱を設置			
ストレスフリー・快適な旅行環境の整備	・〇〇商店街の理解を得られた上で、キャッシュレス環境を整備【令和2年、〇〇観光協会、自己資金】 ・旧〇〇邸及び〇〇博物館の展示物・解説文を多言語化【令和3年、▲庁▲事業】	・〇〇旧市街地の誘導看板、観光案内看板を一体的に整備 ・周遊ルートと商店街エリアとの接点箇所を中心に無料公衆無線LAN環境を整備	・洋式化率100%に向けて、〇〇駅前公衆トイレ整備を実施【本事業を活用予定】		
ユニバーサル対応					
拠点機能の整備・改良					
日本政府観光局による外国人観光案内所の認定	計画提出日 現在の 카테고리				
	認定申請中の 카테고리		アカウント登録後に発行されるID		

計画区域と事業関連図

※地図等に凡例を用いて整備箇所・整備内容・観光スポット等について視覚的に表現してください。



○計画の目標及び目標を達成するために必要な事業内容等

計画の目標			
5	計画の目標	・観光スポットが点在する区域内を一体的にWi-Fi環境や多言語化整備を行うことで、外国人を含む旅行者の快適な周遊を実現し、滞在時間・消費額の拡大を図る。	
事業実施年度内における補助対象事業の実施による直接的な達成目標 (KPI) <small>※実施する補助対象事業の数に応じて、それぞれ1つ以上設定してください。</small>	項目	現状	事業実施後
	①トイレに関する満足度 ②〇〇エリアにおける旅行者の平均支出額 ③〇〇エリアにおけるNPS	①44.2% (R6年度) ②20,000円 (R5年度) ③15ポイント (R6年度)	①90.0% (R8年度) ②40,000円 (R8年度) ③20ポイント (R8年度)
	算定方法	①～②：〇〇エリアでの来日外国人観光客へのアンケート調査 ③：〇〇観光施設利用者へのアンケート調査	
補助対象事業、補助対象事業者及び補助対象経費の見込み等 (単位:千円・税抜)			
6	補助対象事業	事業内容	補助対象事業者
	多言語案内の整備	ICTを活用した、案内標識の整備 ・誘導看板 ・観光案内看板	〇〇市
	無料公衆無線LAN環境の整備	無料公衆無線LAN環境の整備 ・〇〇商店街 ・〇〇通り	〇〇市
	外国人観光案内所の整備・改良	多言語音声ガイドの整備 ・〇〇観光案内所	〇〇観光協会
	ICTを活用したゴミ箱の整備	ICTを活用したゴミ箱の整備 ・〇〇商店街	〇〇商店街 振興組合

※各補助対象事業に関する詳細な情報を記載した資料として、要望書を提出すること。

○計画の策定者及び補助対象事業者等に関する情報

計画策定者に関する事項		
計画策定者の名称	※地方自治体、またはDMO名称を記載 〇〇市	
代表名	所属/役職	氏名
	市長	□□ □□
担当者情報	所属/役職	氏名
	観光〇〇課 主任	□□ □□
	メールアドレス	電話番号
	1234567890@xxx.city.lg.jp	XXX-XXX-XXXX
DMOの登録概要※1	観光庁によりDMOとして登録	
DMOの取組概要※1	※事業対象地域との関わりや取り組み概要を記載	

※1 DMOの情報は、DMOが計画を提出する場合に記入が必要。

事業計画履歴※2

提出履歴	提出日	補助対象事業	更新概要(変更理由を記載)
第一版	令和4年4月	<ul style="list-style-type: none"> 多言語観光案内標識の一体的整備 無料公衆無線LAN環境の整備 外国人観光案内所の整備・改良 	
第二版	令和4年8月	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用したゴミ箱の整備を追加 	周辺住民および施設管理者との合意が形成できたため、令和5年度に実施予定であった事業を前倒して実施する。訪日外国人観光客の満足度への寄与が高い事業のため、本計画に含めた事業を実施したい。

※2 年度内に新たに補助事業を追加する等、計画の変更手続きを行う際に、計画履歴を記載

様式第13の2

第 号
令和 年 月 日

地方公共団体の長 印

令和7年度 観光振興事業費補助金(インバウンド受入環境整備高度化事業)
受入環境整備高度化計画に関する同意書

観光振興事業費補助金交付要綱第30条第1項に基づき策定された下記名称の整備
計画について、同意します。

計画名	〇〇旧市街周辺における受入環境整備高度化計画
計画策定者の 名称及び氏名	〇〇市長 □□ □□
計画の対象となる地 域の市区町村名	〇〇県〇〇市